

チリ「障害者スポーツの普及とパラリンピック出場を目指して！」 2014年3月～2024年11月



パラパンアメリカン大会にて(2023年11月)
チリ選手団専属アシスタントとして参加

背景/課題

チリ唯一の国立リハビリテーションセンターであるペドロ・アギレ・セルダ国立リハビリテーションセンターは、身体障害者の社会参加促進やコミュニティ内での障害者自助グループ支援を目的とした障害者スポーツに取り組んでいる。センターから「新しい障害者スポーツ分野の開発・発展」の要請を受け、同センターに派遣のシニア海外協力隊員は障害者への水泳等の指導を実施した。

目的

- 障害者のスポーツを通じた社会参加の促進と障害者スポーツの普及
- パラリンピック選手の指導と育成
- チリ全体の障害者スポーツの発展と指導者育成

活動内容

- 様々な障害者スポーツの普及・指導（卓球・ボッチャ等）
- 初心者から選手育成までの障害者水泳の指導と指導者育成
- 障害者の社会参加促進のイベントの企画・実施（障害者スポーツ大会・遠足等）

成果

- 隊員の指導により、チリ国内パラ水泳大会の入賞選手や国際大会出場選手が誕生！教え子のChristopher Durán選手は、2019年パラパンアメリカン大会にて入賞。隊員と地域の指導者が指導する同センターの卓球クラスで2017年から卓球を始めたMaximiliano Rodríguez選手（Clase4）は、2023年パラパンアメリカン大会で優勝し、2024年パリパラリンピック大会の出場が決定した。
- パラリンピック出場者数やメダル獲得数の増加からも、チリの障害者スポーツの普及、底上げ、発展に貢献！
- 隊員はパラスポーツへの献身的な活動もあり、「東京2020パラリンピック」および「パラパンアメリカン大会2023」にて「チリパラリンピック専属アシスタント」としてボランティア参加！